

コーラス・ボーイ必携の
永遠の合唱愛唱名曲全46曲を収録

グリーンクラブ*アルバム

■ グリーンクラブ・アルバム I



● TA-60050 30cmステレオLP ¥2,000
 からたちの花/中国地方の子守唄/この道/帰る帰ろ/あわて
 床屋/青蛙/砂山/婆やのお家/柳河/遙かな友に/水夫のセ
 レナード/いざ起て戦人よ/ふるさと/権兵衛が種まく/源兵
 衛さんの赤ちゃん/あぶないぞ/鉄道開通/ユーピディー/白
 百合/お留守居/詩篇98/家路

★(指揮)福永陽一郎/北村協一
 ★(合唱)関西学院グリーンクラブ 同志社グリーンクラブ
 早稲田大学グリーンクラブ
 慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団

■ グリーンクラブ・アルバム II



● TA-60051 30cmステレオLP ¥2,000
 キリエ・エレイン/アニュス・デイ/レクイエム・エテルナ
 ム/主は我が牧者なり/主の祈り/菩提樹/野ばら(ウェルナ
 ー)/野ばら(メンデルスゾーン)/小夜曲/ローレイ/別
 れ/自由の歌/狩人の別れ/静かな夜/あしたまで/祈りの歌
 /アイ・グッド・ヒア・ノウボデイ・ブレイ/ロード・アイ・
 ウォント・トゥ・ピ・ア・キリシタン/グレート・デイ/ステ
 イール・アウェイ/イツ・ミー、オ・ロード/ディキシー/
 シェナンドア/ウ・ボーイ

好評発売中 ※お求めはお近くのレコード店へ



◎北大寮歌

音で綴る学園の歴史

卒業後
何年たっても忘れられない
青春の思い出を
是非音のアルバムで!!

■記念レコード・特注レコードの製作は、気軽に御相談下さい。
 ■説明書は申込次第お送りします。



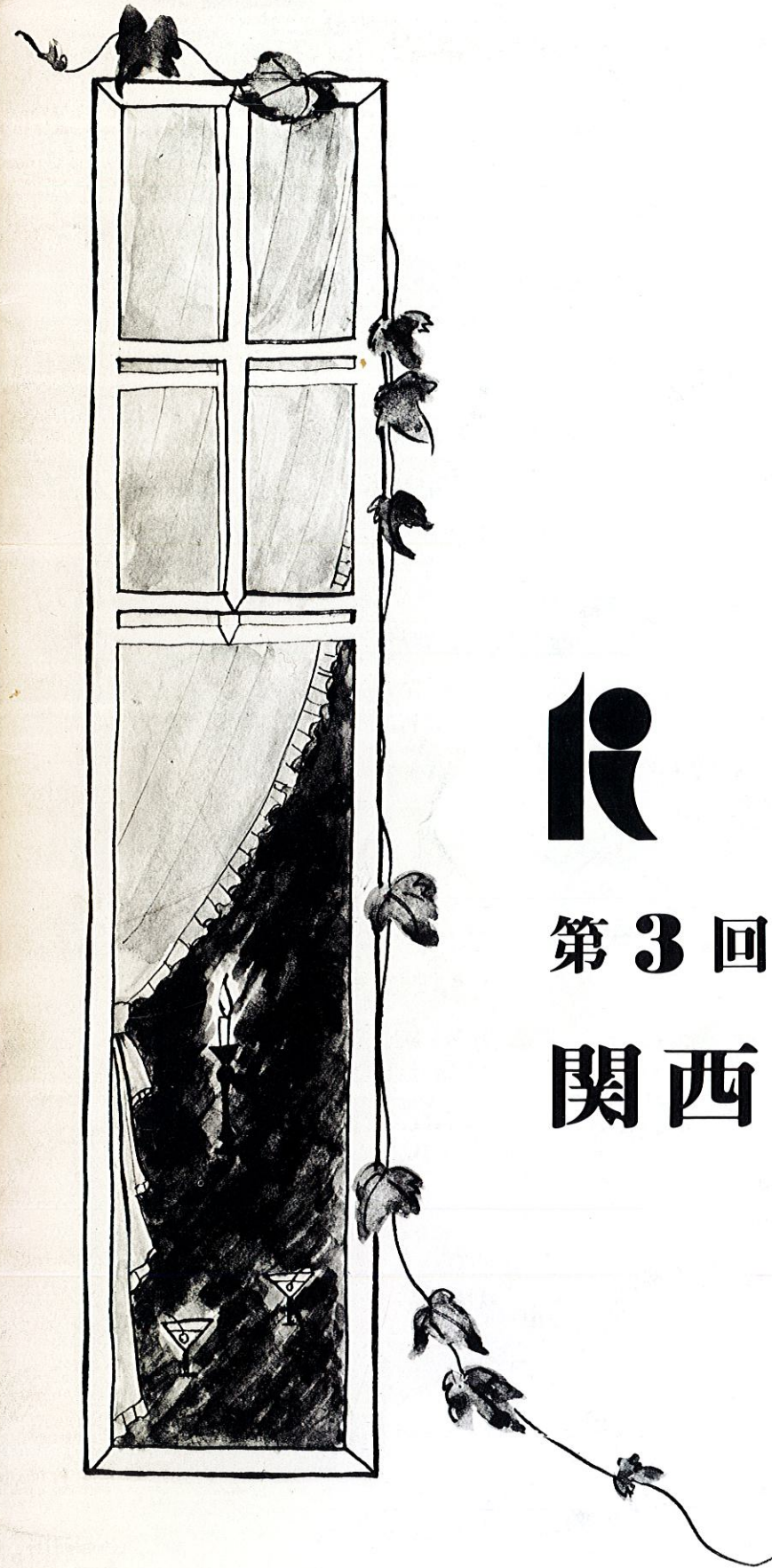
◎同志社百年

永遠に残る青春の歌声



東芝EMI株式会社

〒530 大阪市北区曽根崎新地2丁目15番地
 TEL 06(345)4961代表・06(341)2884直通



R

第3回

関西六大学
合唱演奏会

第3回 関西六大学合唱演奏会

1976年10月19日(火) 6:30 P.M.
大阪フェスティバルホール

主催
関西六大学合唱連盟

後援
関西合唱連盟

協賛
大和銀行

本日の合同演奏はNHK-FM(ステレオ)で
後日放送いたします。



≡ ご挨拶 ≡

本日はお忙しいところを、私達関西六大学合唱演奏会にご来場下さいましてありがとうございます。

一昨年11月、昨年10月の演奏会を成功裡に終え、本日ここに第3回の演奏会を迎えることとなりました。

現在、日本の合唱界にあつては、アマチュア団体が大きな比重を占めており、我々大学合唱団に対する期待も大きなものがあると考えます。この意味からも、合唱に魅了され、歌を愛する心で結ばれた我々は、この演奏会に大きな意義を感じ、幾多の努力を払ってまいりました。我々の力いっばいの演奏の中に音楽に対する若き情熱をお感じ下されば幸いと存じます。

最後に、このような立派な演奏会を開催できますのも、ひとえに合唱に御理解を持つ聴衆の皆様と、諸先生、関係者の方々のおかげと存じております。ここに厚くお礼を申し上げますとともに、今後とも一層の御指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

(関西六大学合唱連盟)

石井 歓

全日本合唱連盟理事長

関西六大学合唱連盟主催による第3回合唱演奏会が催される由です。

関西といえば、歴史的に合唱の盛んなところでもあります。

合唱の楽しさ、喜び、合唱芸術の深遠さをもっとも早く、そして最も広範囲の人々によって、開発されたところでもあります。

その地の六大学の人々による合唱演奏会は、関東の大学生によるものとはまた別の違った意味をもって、素晴らしいものであろうことを信じて疑いません。

演奏会の成功をはるかに祈ります。

長井 齊

関西合唱連盟会長

関西六連の偉容を誇る

このように、顔がそろると、まさに、関西合唱群の中堅とも見なされる大学合唱団の勢揃いといった思いもするのです。それに加えて、この度は、その第3回目に相当するので、会場も、この大フェスティバルホールに進出して、あらかじめ、その演奏意欲を昂^{たか}めているのは、大いにその成果のほども期待されるわけです。

ところで、わが国の大学合唱陣は、ここ数年間に、広くその演奏を世界に紹介して、高くその技術を評価されていることは、誠にご同慶に存するところですが、復^{また}、その評言に心酔することなく、更に、至高の合唱美に近づきたいことを祈りたく思うのです。

その表示とも看^み倣される最後のステージには、特に、東京より関屋晋氏をお招きして、客演指揮をお願いしたことは、洵に当を得たことと、満腔の賛意を申し述べると共に、参加の各合唱団においても、それぞれの異った立場と方法とによって、熱演への意図と努力を披歴することに、やぶさかでないことを念願して、祝辞とする次第です。

(文中の「中堅」とは中央部にある軍の精鋭群という意味です。)

関屋 晋

関西六連の顔

声は一人一人皆違う。その声をきいただけで誰であるかよくわかる。顔が違うように、声も違えば、考えていることにも変化のある人間が集まって、自分達の声、自分達の言葉で、自分達の音楽を創り上げてゆくのは、何ともいえずすばらしい。

何十人かが集まって、一つの顔が出来上ると、何十年か経って、中にいる人間は変っているのに、顔にはあまり変化がないのが面白い。多少シワが増えたり、隆鼻術で鼻がほんの少し高くなったりするだけで、人間が全く変わってしまう程のことは起きない。自分の顔に誇りを持ち、責任を持つとすることからだ。学生のクラブ活動のよいところだろう。

一つの顔を持った団体がいくつか集まると、また違った顔が出来上る。だから人間の集まりは楽しいのだ。「手作りの味」というか、根気のいる仕事だ。新しい関西六連の声が、より知的で力強くあって欲しいと思っている。

東京六大学合唱連盟

第三回関西六大学合唱演奏会の開催を心よりお祝い申し上げます。

関西に在する六つの代表的な男声合唱団が、今宵一堂に会し催す演奏会は、必ず素晴らしいものであると確信します。

人の和であり善意の交流である合唱を経験するという幸運は、えてして、その中に身を置いている時、気がつかずにいるものです。

我々、関西と東京という地域の違いはあっても、合唱する目的は同じであり、合唱を通した心の通い合い、信頼というものを大切にしていきたいと思っております。今宵の皆様の若い情熱が、りっぱな音楽の創造という形で発揮されることを期待してやみません。

我々に比べてまだ若い関西六連ですが、良きライバルとしてこれからの益々の御発展を願うと共に、この演奏会の御成功をお祈りしております。

エール交換

関西大学
立命館大学
甲南大学
大阪大学
同志社大学
関西学院大学

第 1 部

* 関西大学グリークラブ

チャイコフスキー歌曲集

- 何故に
- さわがしい舞踏会で
- 語るな我が友よ
- 唯、憧れを知るもののみが
- ドン・ファンのセレナーデ

編曲 福永 陽一郎
指揮 下井田 秀明
伴奏 浅井 康子

* 立命館大学メンネルコール

Sea Shanty より

- Whup! Jamboree
- Swansea Town
- Haul Away, Joe
- What Shall We Do With The Drunken Sailor
- Shenandoah

編曲 Alice Parker
Robert Shaw
指揮 佐藤 有

* 甲南大学グリークラブ

男声合唱組曲「愛と悲しみ」

- 1. 不思議な時間
- 2. 愛と悲しみ
- 3. 時間がほしいのです
- 4. ?
- 5. 別れの旅

作詩 室 塔 薫
作曲 大 中 恩
指揮 西 牧 潤
伴奏 漁 康 子

— Intermission —

第 2 部

* 大阪大学男声合唱団

コダーイ作品集

- Bordal
- Huszt
- Isten Csodája

作曲 Kodály Zoltán
指揮 池 辺 健

* 同志社グリークラブ

Messe Solennele

- Kyrie
- Gloria
- Sanctus
- O Saltaris
- Agnus Dei

作曲 A. Duhaupas
指揮 山 下 裕 司

* 関西学院グリークラブ

Negro Spirituals

- Ride the Chariot
- Do-don't touch-a my garment
- Were you there?
- If I got my ticket, can I ride?
- Ain'-a that good news!

編曲 William Dawson
Robert Shaw
H.T. Burleigh
W.H. Smith
指揮 坊 佳 憲

第 3 部

* 合同演奏

男声合唱組曲「海の構図」

- 1. 海と蝶
- 2. 海女礼讃
- 3. かもめの歌
- 4. 神話の巨人

作詩 小 林 純 一
作曲 中 田 喜 直
編曲 福 永 陽一郎
指揮 関 屋 晋
伴奏 山 本 篤 子

チャイコフスキーの歌曲集について

チャイコフスキーの音楽というと、すぐ頭に浮かぶのはあの有名な三大バレエや後期の交響曲であるが、作曲家チャイコフスキーの本質を探ろうとするなら、むしろそれらの巨大な作品群の影にかくれている、より小規模で、だからこそよりデリケートな歌曲の一群に目を向けるべきだろう。チャイコフスキーの作風は、先にのべた交響曲等で明らかなように、その中心となるものが悲劇的パトスの世界であり、劇的なかつとうというものが、民族的な、甘く豊かな旋律や、見事な和声的效果によって美しく語られていくといったもので、それは今回演奏するいくつかの歌曲にも共通していえることである。特にこれらは男声合唱用に編曲されているために色彩的な和声の効果がより強力な説得力を持つようになっている。今宵の皆様はチャイコフスキーの最後の作品となったあの「悲愴交響曲」の持つ巨大なパトスの世界が、実はこれらの小さな歌曲の中にすでに芽ばえていたことに気づかれることだろう。

何故に チャイコフスキーの歌曲にはロシア・ロマンス作家の伝統とドイツロマン派のリート、特にシューマンの影響が同居しているといわれるが、そこにはやはり彼特有のあわい抒情が内包されている。この曲では後半感情が昂まってきて激情的になるところが、たくみな和声展開によりみごとに浄化されていく。

※※何故春なのに、咲き誇るバラささも青ざめたのか。何故私自身こんなに悲しく病みがちなのか。お、お前が私を捨て、忘れたのではないか？※※（ハイネ原詩）

さわがしい舞踏会で 舞踏会を表現するワルツのリズムにのって歌われるベシミスティックなメロディーが俗事のざわめきの中の孤独というものをよく表している。

※※さわがしい舞踏会で、ふと俗事の騒ぎの中にそなたを見た。しかし、秘かに覆われたお前そのものの姿を。その瞳は愁わしげに眺めやり、声はかくも素晴らしく響いた。※※（A・トルストイ詩）

語るな我が友よ バリトンのレチタティーボで語られるほの暗いこの曲は、歌手自身の心が反映するかのようには和声に変化していく。

※※語るな我が友よ。二人で黙って墓石の上ですわつていよう。ただ垂れかけた柳だけが、君の疲れた心に、明るい幸せな日々があったことを、そしてその幸せが失われたことを知っている。※※（ハルトマン原詩）

唯、憧れを知るもののみが チャイコフスキーの歌曲中、もっとも有名な曲、例のシュワルツコップのレコードを聴かれた方も多だろう。切ない胸の内を見事に表現した有名なメロディーにはじまり、気分を昂まりを後半で一気に爆発させたのち、無伴奏で歌い出される所は大変印象的である。

※※否、ただ会うことへの憧れを知るものがわかるのだ、どんなに私が悩んだかを。力なく遠くを望みそして目をくもらせる。あ、私を愛し、知っていた人々は遠い。※※（ゲーテ原詩）

ドン・ファンのセレナーデ 題名からもわかるとおりこの曲の内容はいわゆる精神的なものとかそういった類のものではさらさらしない。むしろ声をひけらかすイタリア・オペラの aria にも似た曲趣である。リズム・メロディーともに野趣に富んだこの曲はチャイコフスキーがロシア人であったことをあらためて思い知らせてくれる。

※※遠いアリアハラハの灯は消えたギターの響きの呼び声に、出たおいで私のいとしい人よ。すべて他の女をお前と同じだなどと言う者を私は愛に燃え、すべてを決闘へと招くぞ。月の光に染まる地平線お、出たおいでニセータ急いでバルコニーへ。※※（A・トルストイ詩）



伴奏 浅井 康子

昭和46年 大阪音楽大学ピアノ科卒業

昭和48年 同大学院修了

現在 同大学講師



大阪市内を一望に見渡す、千里山の地に、数名の音楽を愛する若者が集まり関西大学グリークラブを創ったのは、今から27年前の事であります。以来四半世紀、いつも変わることのない、男声合唱という絆で結ばれた男達の音楽に対する情熱と、我々グリーメンを暖かく見守り続けて下さっている諸先生方に支えられ、常に前進を心がけながら合唱技術の向上と心の和を養うべくグリーメン一同、努力を重ねてまいりました。

一年間のグリーライフは、フェアウェルコンサート、春の演奏旅行、法政大学アリオンコール、中国短期大学フラウエンコールとのジョイントコンサート、そして今宵の関西六連、定期演奏会、等々と多忙を極め、時として、その活動は、部員に苦痛を強いることもあります。しかし真のハーモニーを求めて止まない、このむくつき野郎達は、クラブに来てはその苦しさを顔に表わすことなく、全員一丸となって未来の大きな目標に向かって、一步一步前進しているのです。そして束の間の輝きとも言える短い大学生活において、関西大学グリークラブというすばらしい音楽集団の一員として歌えることは、生涯の誇りとなるであろうことを我々は確信しております。

何といっても素人の集まりで、まだまだ未熟さをかくせない合唱団ではありますが、今宵の我々の演奏が、聴衆の皆様にかかを与え多少とも心に残り得るものでありましたならば、部員一同これ以上の喜びはありません。

今年は12月12日(日)、昨年に引き続きフェスティバルホールにおいて第18回の定期演奏会を催す運びになっております。今後とも、この関西大学グリークラブに厳しい御批判並びに御支援を賜りますように、何卒よろしくお願い申し上げます。

関西大学グリークラブ
第18回定期演奏会

指揮 下井田 秀明 曲目 ●MASS FOR THREE VOICES バード作曲
客演指揮 近藤 安 个 ●人間の歌 作詩堀口大学 作曲 多田武彦
ピアノ伴奏 浅井 康子 ●チャイコフスキー歌曲集
●走れ、わが心 作詩伊藤海彦 作曲 大中 恩

■12月12日(日) 大阪フェスティバルホール ※開演 P.M 6:30
¥600 <連絡先> 山県 Tel. (0797) 86-6297

NM ニュー・ミュンヘン

- 本社 TEL (312) 0131 ●貴賓室 TEL (364) 7122
- 本店 TEL (311) 3381 ●神戸大使館 TEL (391) 3656
- 北大使館 TEL (312) 9151 ●ナンバ大使館 TEL (633) 8461
- 南大使館 TEL (211) 8828 ●見本市大使館 TEL (573) 4777
- 南大使館別館 TEL (211) 7248 ●香港店日本料理大阪 TEL (九竜) 674338



「Sea Shanty」

往年の大英帝国が七つの海を支配していた頃、幾世代にもわたって海の上でうたい続けられてきた Sea Shanty は、イギリス海軍の水兵の歌と、イギリス商船の水夫の労働の歌として発生したのです。

19世紀前半になると、帆船は黄金時代を迎え、それにつれて Shanty もその全盛時代を迎えることとなります。この頃は欧米資本主義の経済発展期にあたり、船体の各部分は著しく改良され、必然的に水夫の仕事の数が増えてきて、それぞれの仕事に合わせて能率をあげるために、さまざまな種類の歌が作られるようになりました。

このように長い間、労働歌として、又労働の慰めとしてうたい継がれてきた Sea Shanty も時代の流れとともに、次第に船でうたわれることは少なくなり、代わって歌手によって陸で広められるようになったのです。元来は無伴奏でうたわれ、独特の海員ことばによる歌詞もさまざまに即興で歌われたため、多くの替歌をもっています。

Sea Shanty の特色は、力強いメロディと色どり豊かなイディオムばかりでなく、聴く者に、海の男の汗と涙の物語を生き生きと感じさせるということです。我々は、これらの歌を通じて、その昔、広い海原を航海した勇気ある海の男たちの仲間入りをすることができるのです。

Whup! Jamboree (Irish Sea Shanty)

この曲はアイルランドのリールという民族舞曲のリズムと旋法によったものです。ジャンボリーとは、お祭り騒ぎのことですが、集まった人々に航海の様子を歌ってきかせるこの曲は、まさしくジャンボリーにふさわしい陽気さをもっています。

Swansea Town (English Sea Shanty)

スワンシーはイギリスのウェールズ地方にある港町です。したがってこの地方の船乗りによってうたわれたシャンティーであることは明らかでしょう。歌の内容は、恋人に別れをつけて出港し、ホーン岬をこえてサンフランシスコへ行くけれど、なつかしいスワンシーの町と恋人の許にまた戻ってくるという、明朗さにあふれた船出の歌です。

Haul Away, Joe (English Sea Shanty)

ゆっくりしたトゥ・ステップでうたわれ、古いイギリス民謡によくあるカノン風の進行のコーラスの効果がおもしろく再現されています。かけ声だけの歌のなかに、フランスのルイ16世が革命で首をちょん切られたとき、といったことを詠みこんでいるのは、いかにも労働歌らしい味があります。

What Shall We Do With The Drunken Sailor (English Sea Shanty)

イギリスの海の労働歌としては最も古いもので、多分17世紀頃から歌われていたとされています。それだけにいろいろな歌われ方がされていますが、ここでは、二日酔いの船乗りを早く醒まして仕事させるにはどうしたら良いかと、その方法が早い Tempo でコミカルで楽天的な水夫気質をまるだしにしたアレンジでうたわれています。

Shenandoah (American Sea Shanty)

アメリカのシャンティーとして最も有名な曲であり、同じ題名の西部劇や「西部開拓史」などの映画にも使われています。シェナンドーは、ヴァージニア州を流れる河で、開拓時代、この河をこえて西部のフロンティアに向った開拓者たちがミシシッピ河を旅しながら歌った歌です。この歌ではシェナンドーはインディアン人の娘の名のことをいっています。



1946年10月 練習開始 (合唱団結成)
 1955年6月 「立命館大学メンネルコール」命名
 1976年10月 第3回関西六大学合唱演奏会

* * * * *

我らメンネリアンはどうもおとなしいらしい。男ばかりのクラブだからさぞ活発だろうと期待するのであろうか、メンネルコールに接する人から「おとなしい人が多いですね。」と少しつまらなさそうに言われるのをたびたび聞く。私事で恐縮だが、確かに私自身も入団する前、あるいは入団した頃に比べると近頃はおとなしくなってしまったなあと感じる。このおとなしさ、ともすると他の人を避けているような印象を与えてしまう。でもそうではないだろう。

音というものは、そもそもうるさいだけでしかないのかもしれない。だからこそ美しい音に対する欲求があるのだろう。町の騒音はもとより、人の声も話している本人の意に反してうるさがられることが往々にしてある。そんな音を知れば知る程、そうでない音を欲する。心が欲する。メンネルコールのおとなしさは、そんな音に対する誠実さ、人間の音である歌に対する誠実さのあらわれではないだろうか。音を愛することは静寂を愛するが故ではあるまいか。すなわち音無しさである。

夜半、少し疲れて横になり、なにげなく上を見ていると、雨があの音を造る。そんな音に言いしれぬ安らぎを感じる。それからあの音は大きくなり、あわてて部屋のいつものところにバケツを置く。バケツにもいつものあの音が聞こえると思わず楽しくなる。そんな下宿ばかりに住んでいるのがいかんのかもしれぬ。

人を避けるのではなく、人に誠実であろうと、そして音を愛しているのがメンネルコールのおとなしさではないだろうか。美しい音によって人々の誠実な心を少しでも潤すことができたらと願う。

今年30才になったメンネルコール、それでもまだまだ大人しくない面も多い。



ミドリノしましろう

京都 中央信用金庫

本店 〒600 京都市下京区四條通烏丸西入
 ☎ (075) 223-2525 (大代表)

Miyako Hotel & New Miyako Hotel

京

東山の高台から古都を一望



京都・東山・けあげ

都ホテル
 ☎(075)771-7111

新幹線口から歩いて一分



京都駅八条口

新・都ホテル
 ☎(075)661-7111

男声合唱組曲「愛と悲しみ」

室塔 薫 作詞 大中 恩 作曲

今まで、これほど今日の、身に覚えのある合唱作品があったでしょうか。確かに感覚として何となくその雰囲気にひたって
みたりすることのできる作品はあったように思いますが、人間の生活の根源にあるべき「愛」そしてその中の一つの典型である
男女の間の愛を決して「甘く」なく、むしろその反対の形で書かれたこの作品を見ると、とても演奏せざるを得ない気持ちにな
ってくるのです。

若い二人の愛において時間の隔りは、どうしようもないものだという気がします。二人が常に接しているからこそ、共に笑い
悲しみ、そして時には喧嘩もするものなのでしょう。もちろん、そうすることによって二人の愛は高められてゆくものなので
が時間の隔りができてしまった時、知らず知らずの間に（まわりにはもちろんのこと、当の二人にも）別れてしまうことも多い
ようです。そして最も悲しいことに、そういう場合に限って二人が二人共お互いを愛しあっていたというのはあまりにもよくあ
るケースです。私が男である故に男性の立場を弁護する訳ではないのですが、もし不幸にして女性が男性にふられた場合でも男
性が女性をかばう立場に立ってあげなければならないのは、女性に対する誠意だとはいえ、どういうわけでしょう。愛によって
傷つくのは男も女も一緒、いやむしろ男の方が大きいような気がするのですが……。男性の心はこわれやすいガラス細工のよ
うなものでもありますから。どうか今日会場においでの方の若い女性の皆さん。今、心を一つにしておられる、又これからそうされ
るであろう相手の男性を一生懸命愛して、本当に強く愛してあげてください。

あれ！ 曲のこととは全く別の方へ話がいつてしまいました。それほどこの曲の内容が我々の生活と密着しているということが
おわかりいただけたでしょうか。男声合唱組曲「愛と悲しみ」は次の五曲より成っています。

1. 不思議な時間
2. 愛と悲しみ
3. 時間がほしいのです
4. ?
5. 別れへの旅

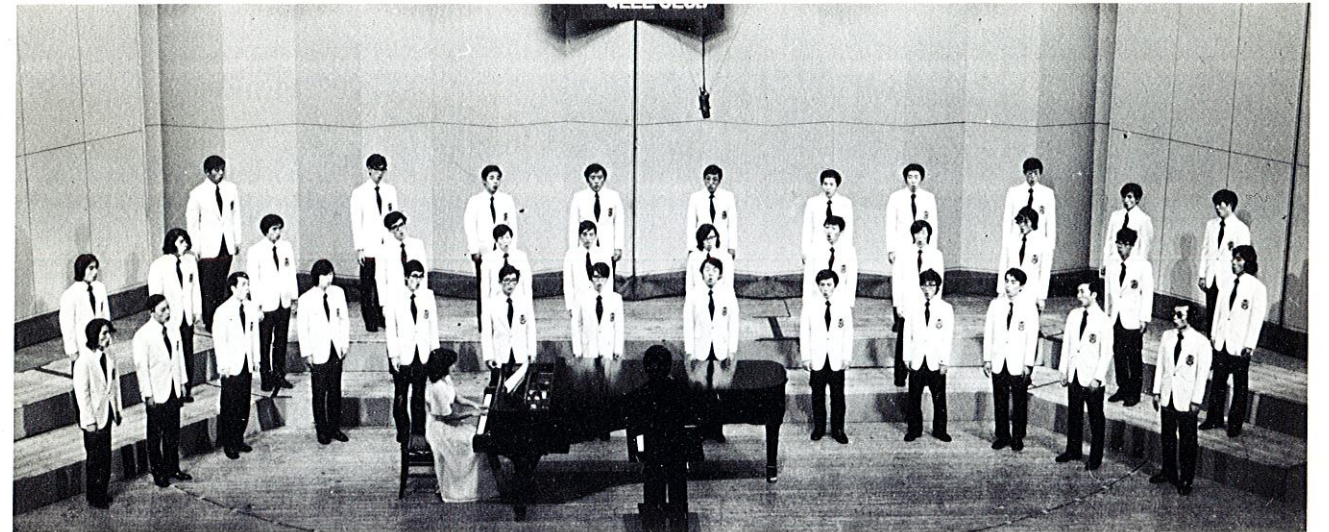
(大中恩氏の今年(1976年)の作品で、今年1月東海メールクワイヤーによって初演されました。ちなみに、作詞の室塔薫氏は
東海メールクワイヤーのメンバーでもあります。)



伴奏 漁 康子

県立芦屋高校卒業

現在、大阪音楽大学音楽学部ピアノ専攻1年在学中



六甲南麓、山と海に恵まれた阪神間で最も景勝の文教指定地区に位置する甲南大学。そして、そこに若人の歌声が響きはじめたのは、25年前のことです。以来、甲南大学グリークラブの歴史は、多くの若人により、演奏活動を通じて受け継がれ、発展してきました。これからも、その活動はますます盛んとなり、歴史の1ページを綴ってゆくでしょう。

さて、私達甲南大学グリークラブは、合唱技術の向上と音楽を通して、部員相互の理解を深めるということを目指してきました。が、現実には、やはり壁が存在するのだなあとこのことを感じさせられているのです。

現在、部員は42名。男声合唱としては、小所帯の部類に入ります。そのせいか、チームワークは非常に良く、一つのものごとぶつかって、それを乗り越えてゆく力は、目を見張るものがあります。また、練習場においても和気あいあい、そして、曲に取り組む姿勢はひたむきさを感じさせるのです。

でも、前述のように、問題がないわけではありません。少人数なればこそ、部員相互の理解と親睦が深まりやすいのかもしれませんが、合唱技術の向上という面から見れば、それはあまり好ましい状態であるとはいえないのです。すなわち、グリークラブ本来の生命が重厚な響きというものであるとするならば、今一步の力不足を感じるのです。「合唱技術の向上」と「部員相互の理解」という二つの目標を追い求める我々クラブですが、現在は、やや「部員相互の理解」という方向に傾いているというのが偽らざるところでしょう。

しかし、「山椒は小粒でもびりりと辛い」の諺のように、少ない人数でも、みんなが一つになれば、そこには無限の可能性が存在すると信じております。私達は、あらゆる面においてまだまだ未熟です。反面、未熟なればこそまだまだ伸びていく可能性が大きいと思うのです。今宵の演奏におきましても、成長過程の山椒ながら、辛さの片鱗でもお聴かせできれば幸いです。

さて、私達の1年は、学習院大学男声合唱団とのジョイントコンサート、神戸三大学合唱演奏会、関西六大学合唱演奏会、そして学園祭と続き、12月のリサイタルで忙しい1年を終わるといことになります。こうやって並べてみるだけでも、かなりのハードスケジュールですが、そこは持ち前のチームワークのよさで、こなしております。今年も12月12日(日)に神戸文化ホールでリサイタルを開催するに至りました。創部25年目の演奏会です。成長過程の山椒といたしましては、これを一つの区切りと考え、また新しい方向を模索しようと考えています。

どうぞ、我々甲南大学グリークラブを本当にビリりと辛い山椒に育てる意味で、今後とも多大な御批判、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

祝 関西六大学合唱演奏会

レストラン A B C

地下鉄難波駅北口 TEL 06 (211) 3548



10th GLEE CLUB RECITAL 記念演奏会

第10回神戸海星女子学院グリークラブ定期演奏会

<曲目>

- ◎GLORIA ビバルディー 作曲
- ◎マンモスの墓 間宮 芳生 作曲
- ◎愛の河 湯山 昭 作曲
- ◎心の四季 高田 三郎 作曲

12月4日(土)

芦屋ルナホール

※ 甲南大学グリークラブ賛助出演

「コダーイ — 人と作品」

私達は昨年引き続き、再びこの演奏会でコダーイの作品をとりあげることになりました。その理由は、一口で言うと、私達自身が彼の作品にすっかり魅せられてしまったからなのです。昨年の演奏そのものは決して自慢できるものではありませんでしたが、コダーイ独特のハーモニー、リズム、叙情的なメロディーなど全てが新鮮な驚きであり、その感動が私達を動かして、再びコダーイによるステージを決定させることになったようです。

コダーイの作品は、私達の知る範囲でも、一昨年は東大のコーラアカデミー、昨年は慶應のワグネルソサイエティーが取上げており、コダーイ自身についても、現代ハンガリー音楽の創成者であると同時に、20世紀最大の作曲家、音楽学者の1人であることは、皆様よく御存知の事と思われまふ。蛇足かも知れませんが、彼の略歴に少し触れておきましょう。

コダーイ・ゾルタン (1882~1967) は、大学時代、ハンス・ケスラーに作曲法を学びました。卒業後、民謡の収集と研究につとめ、1907年、バルトークとともに、国民音楽の確立を志しました。その音楽は、ハンガリー民謡研究を根底とする独自の和声、リズムを特徴とし、旋律的な叙情性、野性的な生命力、高い宗教的精神の内容を持っています。代表作には、「ハンガリー詩編」、「ハーリ・ヤーノシュ」、「パンナ・ツィンカ」などがあります。1907~1914年まで、ブタペスト音楽院の教授をつとめ、第2次世界大戦後は、ハンガリー最高の音楽家として国民芸術会議議長、国会議員、ハンガリー音楽家協会会長などの多くの顕職を歴任しました。

Bordal (Drinking Song) — (1913)

Kölcsey Ferenc 詩

コダーイの最初の男声合唱曲で、陽気なおまつり騒ぎの側面にある陰うつな気分を表わしている。重々しい雰囲気と独立戦争に先だつかすかな期待を表現しているこの詩は、第1次世界大戦の直前に筆をとったこの作曲家により、見事な合唱曲になった。

Huszt (Ruins) — (1936)

Kölcsey Ferenc 詩

模倣の技法と、ソロとユニゾンとの力強いコントラストが、素晴らしい効果をあげている逸品。

Isten Csodája (The Miracle of God) — (1944)

Petőfi Sándor 詩

西洋と東洋との境にあり、常にその領土を侵される運命にあったハンガリーは、16世紀以来永く、他民族による支配という屈辱を味わってきた。「このような悲劇的な歴史にもかかわらず祖国はまだ存続している。これはひとえに神の奇蹟だ」と、何度くり返される部分は、その事実に対する驚きと神への感謝の念に満ちて、実に感動的である。コダーイの傑作中の傑作。

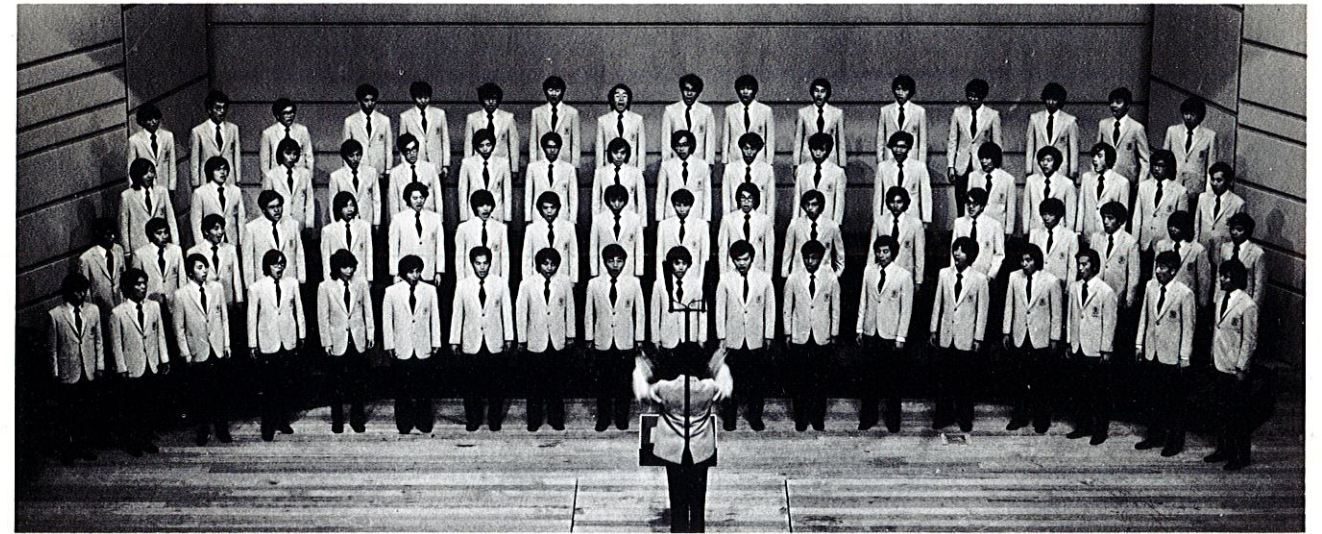
なお、演奏にあたり、ハンガリー語の発音に関し大阪大学言語文化学部教授 岸本通夫氏になみなみならぬ御援助を頂きました。同氏の御厚意に深く感謝致します。

※ 各団体の定期演奏会にも宜敷く御指命下さい。

記録・舞台写真

(株)大阪フォトサービスカンパニー

大阪市西区鞠本町4-36 (第3奥内ビル)
PHONE. (443) 7608・7609



みなさんこんばんは。大阪大学男声合唱団です。昭和26年の学内統合の動きの中で、当時南校と北校を牛耳っていた連中が集まって「オール阪大」として南校講堂で産声をあげた私達阪大男声も当年とって25才。人間で言えば大学を卒業して3年目の働き盛り、そろそろお嫁さんでも……という年頃です。考えてみますと、関西六連加盟が22才、第1回演奏会が23才の時ですから、私達にとって六連加盟というのは「社会に出る」ことを意味していたのかも知れません。

今年喜寿を迎えられる関学グリーをはじめ他の5大学諸兄は我々にとって魅力あり、気になる存在であります。過去2回の演奏会を通じて、その音楽精神が我達にどれほどの影響を及ぼし、また啓発されたことが測り知れません。同時に、我団の生来の異端児的性格ゆえに迷惑をかけてきましたが、若気のいたりとして見すごしていただけにいたるようです。

さて、今宵は昨年にひきつづき、コダーイに挑戦いたします。昨年とりあげた際には、語学力を充分に身につけたいと願う為か、他人より長い教養部生活を送らざるを得ない者が多い我団にとって、マジャール語は大きな脅威でした。電車の中であろうと路上、講義室、浴室であろうと所かまわず練習し、早口言葉まがいの歌詞を何とか覚え、歌えるようにはなったものの、消化不良であったことは否めません。コダーイの音楽の根底に流れる精神にまで触れるような演奏はできなかったようです。そこで再挑戦を決意しました。昨年築いた基礎の上に、我々を引きつけずにはおかなかった、他民族の支配に対する民族自決と愛国心への情熱の高揚と爆発、そして哀愁をいかに表現できるか、どうか御傾聴願います。

阪大男声、只今団員70数名。今年は個性豊かな新参者が30名入団。ブレザーが足りない、嬉しい悲鳴をあげております。完全に民主主義が徹底され、自由と平等が伝統である我団では、声の大きさと体力と厚かましが頼りですが、高度経済成長時代の落とし子である新参者は、抜群の体力でもってはやくも上級生を押しつけ、のさばらんとしています。全く、事あるごとに上級生が一回生に叱られるんですから……。

実験、製図、レポートに追われ、徹夜をした翌日の練習に赤い目をこすりながらやって来る団員も多く、練習場も十三の幼稚園を借りて使うといった、恵まれない環境にある我団ですが、合唱にける情熱は大いに誇ることができるものと自負しております。

技術顧問 桜井吉明先生のもと、25年間に築かれた我団のカラーとトーンを、今後も情熱を傾けて更に育てていくつもりであります。フェスに御来場の皆さん(特にお嬢さん方)ノどうか御支援願います。

写真のことなら……

お写真は何かの記念のとき、御機嫌の良いときに
写しておきましょう。一生の良い思い出となります。
学生生活の思い出に卒業アルバムを……



杉本写真場

杉本 一郎

併設豊中アートプラザ芸術教室申込受付中

〒560 豊中市末広町1-1-28 (豊中駅西側)
豊中アートプラザ2F
TEL. 06-841-7771

曲目解説

作曲家アルベール・デュオーパは19世紀後半、アラス大寺院のオルガニスト兼合唱指揮者だった人で、フランスの男声合唱運動であるオルフェオンの会長でもあった。この荘厳ミサ曲は、デュオーパがオルフェオンのパリ大会のために作曲したものである。元来ミサはローマカトリックの典礼であって、礼拝の時に使う典礼文に曲をつけたものをミサ曲と呼ぶ。しかしながら幾多の作曲家がこのミサ曲の作曲に手をつけているが、中に礼拝のためというわくを越えたものが存在する。この荘厳ミサもその一つで、演奏上の効果を多分に考えた手法で作曲されている。

Kyrie

主よ、あわれみたまえ キリストよ、あわれみたまえ 主よ、あわれみたまえ

3つにわけて3曲づつ唱えられるこの祈りは、三位一体なる神、すなわち父、子、御霊の神にあわれみを請うものであり、ミサの楽曲にはめずらしくギリシャ語になっている。入祭唱にひきつづいて歌われるこの曲は通常唱の第1曲にあたる。

Gloria

キリエがおわるとミサにおいては司祭が「天のいと高きところには神に栄光あれ」と先唱し、会衆あるいは聖歌隊が応答する。キリエの嘆願にひきつづいて歌われるこの讃歌は、救い、あわれみにあずかった者の神にささげるその栄光の頌歌としてふさわしい。すでに4世紀ごろ、讃美の祈りとして典礼文に用いられている。この讃歌の最初の部分はルカによって福音書中に、キリストの誕生の夜、天使の歌った讃歌として記されている。

Sanctus

グレゴリオ聖歌の伝統にしたがって、サンクトゥスとベネディクトゥスがひとつとして歌われる。神の聖と選ばれた聖なる民の救いを説いたイザヤが召命の際にみたケルビムの呼びかわす言葉、すなわち天上の声としてのサンクトゥスと、イエスキリストのエルサレム入城の際に民衆が呼びかわした言葉、すなわち地上の声としてのベネディクトゥスがひとつになって荘厳な讃歌となっている。

O Salutaris

ミサには礼拝の目的によって変化する固有唱と、どのミサでも唱えられる通常唱とにわかれる。このデュオーパのミサのうち今日歌う部分では、この曲のみが固有唱の中に入れられている。サンクトゥスから休みなく歌い出されるこの曲は、神の力と助けを求めている。そこにあらわされるものは信仰の戦いである。

Agnus Dei

バプテスマのヨハネが弟子達にイエスキリストを紹介するに際して、「見よ世の罪をとりのぞく神の羔」といったという。罪のあがないを願って神にささげられた子羊にたとえられるイエス＝キリストはその言葉通り十字架にはりつけられ、自らの血で世の罪をのぞきたもうた。イエス＝キリストの御身体と御血とをうける聖体拝領の準備としての祈りである。



いい友達、
トロージャン。

MEN'S TOTAL FASHION
Trojan

●本館3階メンズフロア



大阪・心斎橋
大丸
電話(06)271-1231



同志社グリークラブ



昔の栄華が想いしのぼれる京都御所の閑寂でひんやりとした空気の中から見ると、赤いレンガ造りのチャペルが夕暮の紫色の淡い光の中に長い影を投げかけている。この地に、新島襄先生によって同志社が創立せられたのは、丁度100年前の明治8年。そして、我々同志社グリークラブが現名誉顧問の片桐哲先生によって“GLEE・CLUB”と名付けられたのは、今から72年前の明治44年。同志社がその一世紀にわたる長い歴史の中で、幾度かの困難に遭遇してきたように、同志社グリークラブもまた70余年の歴史の中では、辛く苦しい時代もありました。しかし、今宵、このように歌うことができますのも、千名にも及ぶ先輩達や、技術顧問の福永陽一郎先生、ヴォイストレーナーの大久保昭男先生、笠原進先生、久邇之宣先生、そしてなによりも今日御来場の皆様の暖かい御支援の賜物だと思っています。

我々のグリークラブは、過去10年前から少しづつ人数が減少して、数年前には40名足らずで大きなステージにのったものでしたが、現在のグリーは70人余りでやっと男声合唱本来のあの重厚なハーモニーが創り出せるようになりました。今年度は、同志社グリーのその活動と音楽において、ある意味で、新しい大きな飛躍ができるか否かの試練の場に立たされた年だといっても過言ではないでしょう。限られたレパートリーの中で、少人数ながらも繊細でガラス細工のような合唱を生みだし、アメリカ演奏旅行で大成功をおさめたのは、もう一昨年よりも前のこと。あの時のリンカーンセンターの感激を膚で知っているのはもう4年生だけとなり、メンバーの3分の2は1・2年生という、無限の可能性を秘めながらも、まだ未知数の状態で迎えたのが今年の春の演奏会だったのです。それ以後、東西四大学合唱演奏会、立教交歓演奏会、夏の山陰演奏旅行などの演奏会において、幸いにも好評を博し、我々の長い伝統の上にたったこの新しい一歩は、若いグリーメン全員に大きな自信を持たせてくれました。

我々が日々追求める芸術は常に時間芸術であり、時と共にそれは流れ去ってしまうものです。我々が時間の経過にただ身を委ねてしまっても、時は流れ、いつしか今日のステージは何事もなかったように昨日と同じように暗闇の中に置き忘れられてしまうでしょう。しかし、私たちは決して流れ去るものとしてステージで歌うのではありません。手の届かなくなってしまう時の流れの中に、流れ去ることのないものを私たちの心に人々の心に、私たちは音楽を創り、皆様の心に、何かを語りたいのです。

今宵は、関西六連の面々と共に歌声を交すことになりました。同志社グリーならではの歌声を皆様にお聴かせし、そして、六大学の音楽にかける若い情熱を一にして、大きな感動を皆様の心に呼び起こすことができれば幸いに存じます。

<p>きものサロン 翁寺世 大阪市南区心斎橋2-31 TEL (211) 1 5 8 9</p>	<p>ヘアカットサロン アらせ 泉北ニュータウン原山台 (原山台近隣センター) TEL (0722) 99-3 5 7 5</p>
<p>呉服・和装小物 アクセサリ 寺世 大阪市東住吉区駒川町8-29 (針中野駅前商店街) TEL (697) 5 5 1 5</p>	<p>喫茶 アらせ TEL (211) 1 5 8 0</p>

黒人霊歌について

アメリカの歌は大きく二つに分けることができます。一つはアメリカ大陸を開拓してきた白人達が好んで歌ったものであり、他の一つは白人達の下で働いた黒人達が歌ったものです。

アメリカの音楽史は、黒人達の活躍を抜きにしては考えられません。今や全世界の人々に愛されているジャズと呼ばれる音楽も、元を正せば黒人達の音楽なのです。

さて、18世紀から19世紀にかけて、アメリカ南部の開拓時代に、労働力としてアフリカから多くの黒人達が移入されました。彼等は当時、教育も文化も持たない文盲ばかりでしたが、その苦しい労働生活の中の唯一の救いはキリスト教だったのです。そこに讃美歌の一種として黒人霊歌が生まれました。聖書、日々のあまりにも激しすぎる労働、ひたすらな祈り、彼等自身の種々の貴い経験、そして来世に対する絶大なあこがれ、期待——それらのものにインスパイヤーされることによって、黒人達は一種の国際語を作り上げたのです。この国際語〈Negro Spiritual〉は、苦しみに喘ぐ人々の口からほとばしりてた叫びです。

音楽的に高度な技術を身に付けていなかった彼等の歌は、どの曲も似かよった平凡なものでしたが、神への救いを求め、苦しい境遇から逃れ、平和な楽園へ行きたいと願うそのメロディは独特な寂しさ、苦しさ、悲しさ等々人々の心に強烈に訴える力を持っています。

Ride the Chariot

“あなたは神の国へ行く用意ができていますか。神の審判の日を前にしてあなたの罪を告白しなければならない。そうすれば、審判の時、天国に行く車に乗れるだろう。”

神への信頼と単純ではあるが純粋な信仰を、リズムの強烈さでアピールする霊歌です。

Do—don't touch—a my garment

鋭くゆさぶる様な囁きを表わすバックコーラスに乗ってセカンドテナーソロが歌います。

“私の衣に触れないで、主よ！ マリア様、私に近づかないで！”

Refrainに入るや調子は一変し、天にも届けとばかりの叫び声となります。

Were you there ?

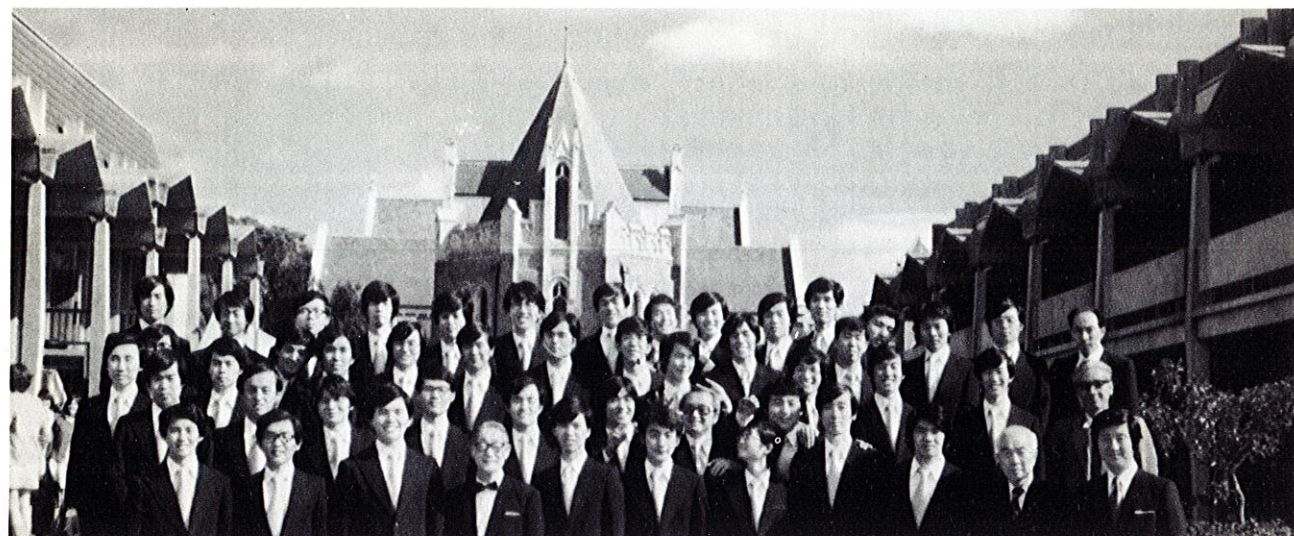
“キリストが十字架にかけられた時、あなたは一体何処にいたのですか？”
悲しく、切なく問いかける曲です。

If I got my ticket, can I ride ?

“主よ、もし私が切符を手に入れたなら、天国に行く車に乗れますか？”
手拍子のリズムののって、テナーソロとコーラスのかけあいの面白さをお聞き下さい。

Ain'—a that good news.!

“俺は天国で王冠を得られるのだよ。俺は天国で日衣を得られるのだよ。俺は天国で救世主を得られるのだよ。素晴らしい事じゃないか。”



緑なす六甲の山並を背に、波静かな瀬戸内海を眼下に見下す高台、美しく静かな神戸原田の森の関西学院に、我が国最初の男声合唱団として関西学院グリークラブが誕生したのは、19世紀もいよいよ最後という1899年のことでした。キリスト教精神により創立された我が学院には、必然的に礼拝音楽を生み出す要素が内包され、音楽的には恵まれた環境が備わっていたと言えます。

このような学院の宗教的雰囲気と内外の温かい御指導、そして何よりも歌うことの好きな幾多の先輩の努力により、我がグリークラブは77年の歴史を歩み、輝かしい伝統のもとに歌い続けてきているのです。

かつて関西学院グリークラブに在籍された故山田耕筰先生は、「歌は祈りであり、祈りは神と人との会話であります。同じ旋律と同じ和声による歌声、即ち祈りを沢山の声にのせて天に向かって話すということは、人間のなし得る最も高い仕事の一つと言えましょう。合唱こそは、全く私心を滅した人間の純真な精神と感情の発現であるのです……。」と書かれました。我々の歌への情熱と、「メンタルハーモニー」の信念はまさにこの言葉に代表され、社会が変化し、大学の体質や学生の気質が変わろうとも、常にその奥底にはこのモットーが流れているのです。

さて、我々は、過去四度の海外演奏旅行に加えて、今夏7月に18日間のオーストラリア演奏旅行を行なつてまいりました。往訪先各地での音楽を通じた交流は、「歌に国境はない」の言葉そのものであり、我々の合唱が当地の人々の心と同化し、暖かく受け入れられた時、本当に合唱をすることの素晴らしさを痛感した次第です。部員各人の胸の中には、あの感激が深く刻みこまれていることでしょう。

我々は、このような経験、或いは一つ一つのステージを消化していくことによって、次第に、合唱という麻薬に馴染んできます。合唱の魅力に取り付かれ、やむにやまれず歌うのです。関学グリーメンの大学生活は、所謂、本末転倒の四年間(人によっては5年以上)であり、我々は心のどこかで否定しながらも結局はそれを享受してしまいます。これが「グリーバカ」たる所以なのです。

自己と音楽との関係を知る。この間合いの連続が流れとなり歴史となってゆきます。音楽をいかに自己内に消化していったのか、この人間の各年代の積み重ねが真の伝統となるべきものでしょう。今宵一堂に会する関西六連の面々は、それぞれにりっぱな伝統を持っています。その中であって、我々の個性が発揮され、関学グリーならではの演奏を皆様にお聴かせできれば幸いです。

今後も林雄一郎先生、北村協一先生、畑中良輔先生、大久保昭男先生等の御指導のもとに、より優れた音楽を創り出すべく努力を重ねていくつもりでございます。

*45th KWANSEI GAKUIN GLEE CLUB RECITAL

1977年1月29日(土) 神戸国際会館大ホール
1977年1月30日(日) 大阪フェスティバルホール

曲目予定
MISSA TEMPORALE BELLI

蛙
はじめに青い海があった
ジーザスクライストスーパースター

指揮
林 雄一郎
北村 協一
坊 佳憲

関西学院グリークラブ

連絡先—関西学院グリークラブホール / TEL (0798) 52-6471

学生募集 ★ 入学受付 毎日
★ 入学日 毎週金曜日

兵庫県公安委員会指定



兵庫県自動車学校

西宮本校	阪急西宮北口駅下車すぐ南	☎ 西宮(67)3761(代)
明石分校	県運転免許明石試験場北隣	☎ 明石(911)6681~2
姫路分校	国道市川橋東300メートル	☎ 姫路(53)2118(代)

男声用 『海の構図』について

中田喜直

私は、合唱も好きだが、ピアノも好きで、そのせいか、ピアノの必要な女声合唱曲が多くなったのかもしれない。男声合唱は無伴奏の曲が多いので、私としては女声合唱の魅力を感じなかった。しかし1948年、最初の合唱曲「午後の庭園」を書いた年に、無伴奏の男声合唱曲「焚火」を作曲しているから、一応そのスケールの大きい美しさに、やはりひかれた時もあったようだ。

ところで、その後長い間、男声合唱曲は作曲していない。ただダーク・ダックスや、ボニー・ジャックスのために書いた男声四重唱の曲を合唱用に直したのはいくつかあるのだが。

さて私の混声合唱組曲「海の構図」を福永陽一郎氏が男声用に編曲したのだが、これが非常にすぐれた編曲で、この曲に新しい生命の灯を燃え上らせた、とも云われている。私は最初、男声用に編曲したことで、女声がなくなっただけ表現力が弱まったのではないかと、簡単に思っていたのだが、実は反対に、かえってスケールが大きくなってより豊かな表現すら出来ることを知って、驚いている位である。そして今回、この曲が「関西六大学合唱演奏会」で歌われることを聞いて、大変嬉しく思い、出来れば大阪まで聴きに行きたい気持である。

『海の構図』について

福永陽一郎

混声合唱のための組曲「海の構図」は、NHKの委嘱により、1961年に作曲されたもので、「現代音楽・日本曲集」の時間に、田中信昭指揮の東京混声合唱団により放送初演された。初演後しばらくの間、人々の視野にはいらぬまま数年がすぎ、同じ中田喜直作曲の混声合唱組曲「都会」が1966年の発表直後に出版されて好評をばくしたのと対照的な経過をたどった作品である。この組曲の第4曲「神話の巨人」をうたった池田明良指揮のアルベルネ・ユージェントコールがコンクールで優勝してから、人々の要望が高まり1968年、出版のはこびとなった。

成功作「都会」にくらべると、内容的には詩とよく結びついた音型が美しく、またたくましく提出されているにもかかわらず、混声合唱の機能の生かしがたに、いくつかの問題点が散見されるし、声部と声域の関係から、楽譜を視覚的に見るとときと同様の効果が現実の音として発揮できないという事実は否定できない。こういったことが演奏を困難なものにしていて、初演されても、すぐには人気を得られないという結果を生んだものと思われる。

私は、アルベルネ・ユージェントコールによる演奏をきいた時、むしろ瞬間的に、この音楽は男声合唱を音素材としたほうが、より大きくその良さを発揮するのではないかと直感した。その後たまたま、ある混声合唱団でこの曲を指揮する経験を持ったとき、その考えは確信となり、作曲者の許可を得て、男声合唱に編曲する計画を練ったのである。

1970年8月に一度完成された男声合唱用の編曲は、第19回東西四大学の合同合唱で、北村協一指揮によって演奏された。更に改訂の手が加えられて、第22回東西四大学の会の合同演奏で、私の指揮で再演され好評をばくし、このあと各地の大学合唱団で好んでうたわれるようになった。この編曲は、作曲家自身が驚異的に成功したアレンジメントというくらいで、広島の高徳高等学校グリークラブは、この編曲をうたって、全日合唱コンクールの金賞を獲得した。

このようないきさつで、この「海の構図」は、私にとってごくインシメートな楽曲となったのであるが、そして又、私は、男声合唱でこの曲を指揮するのが好きでもあるのだが、同時に、この編曲の完成にいたる途中でだんだんと考えが変り、原曲のままを、どこか強力な混声合唱団によって演奏したいとも思うようになった。技術的な面が解決されれば、この曲のすぐれた詩と音楽は、混声合唱によって更に一般的に普及されてしかるべきものだと再認識が芽生えたのである。そこで私は、昨年になって、自分のライブ・ワークのひとつである東芝EMIの「現代日本合唱曲シリーズ」の新しい一枚のためにこの曲を録音し、更に法政大学アカデミー合唱団によってステージにかけたのである。

この曲の中で私がいちばん好きな部分は「神話の巨人」のコーダともいえるべき部分で、まさに「海」というもののイメージを確実にとらえた音楽は、颯風一過の夕映えの光景を眼底にありありとうつつし出すクライマックスをきびき、その見事さは、中田喜直が書いたもっとも見事な一頁と断言できるものだと思う。



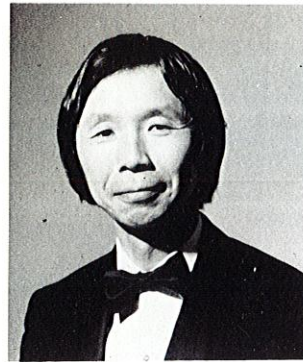
伴奏 山本篤子

関西六連の合同曲の伴奏ができるなんて、とても Happy な私。
ただ女声、混声合唱の伴奏経験はあるけれど、男声は今回が初めてのことでチョッピリ不安。
今宵が私の青春の良き1ページとなりますよう……

<プロフィール>

4才よりピアノを始める。甲南女子高校卒業。各合唱団の伴奏、コンクールの伴奏などを
つとめる。武田邦夫、井口基成、志賀宗三郎の諸氏に師事
現在、相愛女子大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻3年生

指揮者プロフィール



関屋 晋

昭和3年 東京生れ
昭和26年 早稲田大学経済学部卒業
磯部徹、福永陽一郎両氏の指導をうける
学生時代より、アマチュア合唱団の指導、育成に
努め、現在、早稲田大学コールフリーユゲル、湘
南市民コール・松原混声合唱団等々10余の合唱団
の指揮者として活躍している。
〈日本合唱指揮者協会理事・全日本合唱連盟理事〉

海の構図

I 海と蝶

海よ、海よ、
あなたの表情は、
どういふ時が、ほんとうなのですか。
きょうの、その、
くすぐったそうな表情!

空の青さが 色あせたからといって、
あなたのせいではないでしょう、
空の方から溶けこんだのです。

風が音色を失ったからといって、
それも あなたのせいではない、
じぶんで 波間に消えたのです。

海よ、海よ、
あなたの表情が、しかし、
きょうのような日に、
地球のどこかで、
小さな、黄色い蝶が一匹、
こっそり生まれているのです。

海よ、海よ、
あなたの、その子もり歌をつづけてくだ
さい。

……ういん、ういん、るいん、るいん。
ういん、ういん、るいん、るいん。

II 海女礼讃

人魚の姫にたとえられて、
海の少女は くっくと笑ったが、
瞬間、ほころびた口もとに真珠が輝き、
黒髪を 海草の匂いがつつんだ。
そうして、まぼろしのように海底に消えて

小林 純一

いった。
ああ、人魚でなかったら
なんだというのだろう、
あの美しい海の少女は。

また、飛天の像にたとえられて、
海の少女は くっくと笑ったが、
瞬間、口もとをのめる息が笛の音となり、
はだえを七色の虹がつつんだ。
そうして、天翔る姿そのままに海底に消え
ていった。

ああ、飛天の像でなかったら
なんだというのだろう、
あの美しい海の少女は……

III かもめの歌

かもめ、かもめ、
ひもすがら、
なみの まにまに、まう かもめ。
かなしき さがよ、
ひもすがら、
うねりのまにまに、まう かもめ。
ゆらゆらと、ただ、ゆらゆらと。

かもめ、かもめ、
しおざいの、
うたに あわせて、まう かもめ。
かなしき さがよ、
しおざいの、
うたうがままに、まう かもめ。
ゆらゆらと、ただ、ゆらゆらと。

VI 神話の巨人

その頃、
海は孤独な巨人だった。

鉛色の頭髪をかきむしり、
狂暴な叫び声をあげて、
のたうちまわってばかりいた。
うおーん、どどどーん、
うおーん、ざざざーん。
竜が、暗い天へ登っていった。

神にも、サタンにも、
巨人の気むずかしさを
どうすることもできなかった。

今でも ときどき、
海は孤独な昔にかえる。
鉛色の頭髪をかきむしり、
狂暴な叫び声をあげて、
ただ、のたうちまわる。
うおーん、どどどーん、
うおーん、ざざざーん。

そんな時、
人間はただ、
巨人の疲れはてて寝入るのを待つしか
ない。

ああ、
神話の巨人は今、
何を考えているのだろう。
夕焼けに映えて、
少女のように無心に赤いリボンをはひるが
えしているが……。

……ういん、ういん、るいん、るいん、
ういん、ういん、るいん、るいん。

■ 関西六大学合唱連盟常任委員 (順不同)

関西大学	八木仁志
立命館大学	郡司浩吉
甲南大学	濱田伸一
大阪大学	河内山泰彦
同志社大学	松本悌次
関西学院大学	大月秀彦

■ 第3回演奏会実行委員 (順不同)

関西大学	山県真平
立命館大学	天野甚一
甲南大学	前田茂博
大阪大学	平木秀男
同志社大学	栗川佳彦
関西学院大学	大月秀彦



■ 各校の定期演奏会スケジュール

- '76 12月12日(日) 2:00 P.M.
第30回立命館大学メンネルコール定期演奏会……………〈京都会館第一ホール〉
- '76 12月12日(日) 3:00 P.M.
第24回甲南大学グリーンクラブリサイタル……………〈神戸文化ホール〉
- '76 12月12日(日) 6:30 P.M.
第18回関西大学グリーンクラブ定期演奏会……………〈大阪フェスティバルホール〉
- '76 12月14日(火)
第72回同志社グリーンクラブ定期演奏会……………〈京都会館第一ホール〉
- '77 1月9日(日)
第24回大阪大学男声合唱団定期演奏会……………〈厚生年金会館大ホール〉
- '77 1月29日(土)
第45回関西学院グリーンクラブリサイタル……………〈神戸国際会館大ホール〉
- '77 1月30日(日)
第45回関西学院グリーンクラブリサイタル……………〈大阪フェスティバルホール〉

お詫びと訂正

ポスター及びチラシ中の「立命館大学グリーンクラブ」は「立命館大学メンネルコール」の誤りであります。訂正し慎しんでお詫び申し上げます。

Printing by Tyuō

ひと
年上の女。ちょっと憧れる。



心齋橋 PARCO

大阪市南区心齋橋筋1-45 電話 大阪(245)0101